

平成 29 年第 3 回半田市議会定例会建設産業委員会委員長報告書

当建設産業委員会に付託された案件については、7月3日、午前9時30分から、委員会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

はじめに、議案第44号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第51号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

雁宿公園の整備される内容について、地域住民の理解は得られているか。とに対し、

雁宿公園再整備にあたっては、地域住民の代表で構成する「雁宿公園を考える会」の中で意見を取りまとめ、その意見を反映しています。また、自治区長を通じて工事内容の周知を図り、工事着手の際には、イメージパース図を掲示するなど地域住民への周知に努めてまいります。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第53号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

工事着手の時期について、今後どのような見通しか。とに対し、

公有水面の埋立てについては、1工区は、平成30年から着手し、2工区は、平成32年に着手する予定をしており、全体の埋立て工事は、5年以内に完了する計画としています。とのこと。

埋立地はどのような用途で使用されるのか。具体的な計画はあるか。とに対し、

バイオマス発電の新規立地に伴い、衣浦港の主要取扱い貨物である木材チップの増加が見込まれているため、主にその置き場として整備するものです。

とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第54号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

農業委員会の委員の任命に困難を来たすようになった要因は何か。とに対し、

認定農業者自体は減少していませんが、農業を<sup>なりわい</sup>生業とする<sup>かたわ</sup>傍らで農業委員も行うことは負担が重く、声掛けはしましたが、結果的に応募する方が少なくなつたためです。とのこと。

他の自治体はどのような状況か。とに対し、

近隣自治体も改正後の法律に従い、同時期に行っているため、本市と同様な状況と考えられます。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、同意することに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。